

## 2012年エフネット選抜タイ遠征

長坂 京平

今回3泊4日という短い遠征ではありましたが、旅立つ前に思っていたよりも多くの経験ができました。その経験はいいものも悪いものも含めて実際に現地にいき体感じたからこそわかるものであり、日本では確実に感じられないもの、感じづらいものでありました。タイで後悔したことは当然あります。ですが、もしもタイに行く決心をしていなかったらより大きな後悔をしていたと強く思います。

遠征に対しては1対1で個人技が通用するかというよりも、タイという異国の地でもオフザボールのときに落ち着いて効率的に動けるのか、プレッシャーがある中でもパスコースを3つ見つっドリブルやシュートも含めて決断できるのか、1stタッチの置きどころを選択肢の多い所におけるのか、1stタッチで駆け引きに勝てるかといった部分をオフenseでは考えていました。怪我もしているのに加えて、入院していて3カ月近くまともにフットサル出来なかったこともあり、フィジカルの部分ではなく基本的には判断や決断に重きをおいて臨みたいと思っていました。ディフェンスではボールが動いている間にどれだけ寄せられるか（インターセプトも）、そこからどれだけ間合いをつめて自由を奪えるかといった部分を考えていました。

チームとしては寄せ集めのチームなので、雰囲気良くいっぱい話してみんなが同じ方向を向いて遠征を出来るように働きかけていきたいと思っていました。

実際にタイのチームとやってみて感じたことは思っていたよりもできたということです。もっとケチョンケチョンにやられてしまうのかと想像して、相手の強さを高めに設定していたことも原因としてあるかもしれません。ただ、同時に生まれたのがもっとやれる、もっとやりたいという思いでした。結局、今回の遠征ではそのもっとやれるという部分はかなり不完全燃焼な部分になってしまったことは残念でした。初めの2試合は特に展開がドタバタしていてつらかったです。ボールを持つ時間をより増やしたかったし、個人技やカウンターだけでなく、あくまで自分たちから意図的に仕掛けて駆け引きに勝つという場面を増やしたかったです。ただ、3試合目では相手がプロではなく大学生ということもあったと思いますが、かなりオフense、ディフェンス共にチームで戦えていると強く感じられました。このように遠征を通じてチームが成長しているのを実感できたことは大変うれしかったです。もう1週間でもいればもっと良くなったと感じられた遠征でした。この成長の要因はチームのみんなが意識高く、うまくなりたい、勝ちたいと同じベクトルで臨めたからだだと思います。またお互いに意見交換をしてコミュニケーションをとればとるほど良くなっていきました。そして遠征の期間が短いということがその成長をより早めたのかもしれない。

一方で、チームのなかで共通理解が乏しいとこれほどまでに自分が出せないものなのかも思いました。正直、遠征を通して自分らしいプレーはほとんど出せていません。普段

所属しているチームでは共通理解があるのでそのなかで自分のプレーができていたのですが、見方を変えれば今までかなりチームに寄りかかってプレーしていたのかなとも思いました。そして自分もチームも小さくまとまっていたなと思います。日本ではチームに目がいきがちだったのですが、個人個人により力が加わればチームはより強くなります。ごくごく当たり前のことですがタイで強く意識できた点です。

また、チームメイトにかける言葉というものもとても考えました。チームで理想なのは一人ひとりの個性を活かしつつなおかつチームが活きるということ。ただ今回は遠征前の練習はたったの2回。ほとんどぶっつけ本番で遠征に臨むという形でした。だからこそ一人ひとりの個性が消えないように互いの意見を出し合いすり合わせることをすごく意識しました。特に1年生は勢いがよくそこをいかしつつチーム全体も活きるように尽力しました。今回の遠征メンバーはみんなお互いを尊重していて生産的な会話が多かったです。要求の声はあるにしても、マイナスな言葉や「あーしろ」「こーしろ」といった言葉が全くなかったのも印象的です。このようないいメンバーで遠征が過ごせて大変良かったです。

タイのチームと試合をしたのに加え、ポルトガル戦を生で見れたことも大きな大きな財産です。日本に帰ってきて録画してあった映像を見ましたが、生で見たときの情報量には全く及びません。ポルトガルのクアトロは本当にお手本のようにだし、オフザボールの選手の動きの質は非常に高い。また1stタッチの置きどころがみんな本当にうまい。参考になるプレーばかりでかなり有意義な時間を過ごせました。また、結果もポルトガル相手に5-5と日本人としていい試合が見れたと思っています。

タイのチームとの試合やW杯と自分自身かなりプレーのイメージは高くなっています。実際にプレーしてイメージを再現できないのはかなりもどかしいですがうまくなるのみ。今回の遠征でいい引き出しが増やせました。これからはコンディションを整えつつ高めつつ今回の遠征で得られた高いプレーのイメージを保っていきたいと思います。

今回、タイで得た経験はこうして書き出してみるとなかなか言葉にできません。ただ、頭の中ではかなり有意義な経験が蓄積されていますし、この経験を日本において行動で活かせるのがとても楽しみです。

また、怪我も治してなまった体も鍛えコンディションが整った状態でタイに行きたいと思っています。その時はまたちがったチャレンジができると確信しています。

金子さん、今回の遠征で選手たちに多くの自由を、考える時間を与えて下さりありがとうございます。試合中言いたいこともあつたらうし、もっと指摘したい部分もあつたと思います。けれど、そうした部分を任せてもらったことで選手たち自身で考え、助け合えたし、より成長を実感できたと思っています。今回の経験は非常にこれからのためになると思います。というよりもためにさせます！チームに帰ってやるのがいっぱいです。

ありがとうございました。